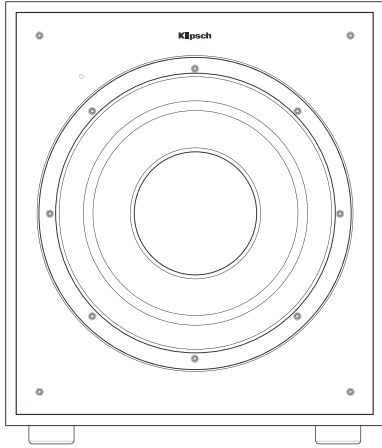
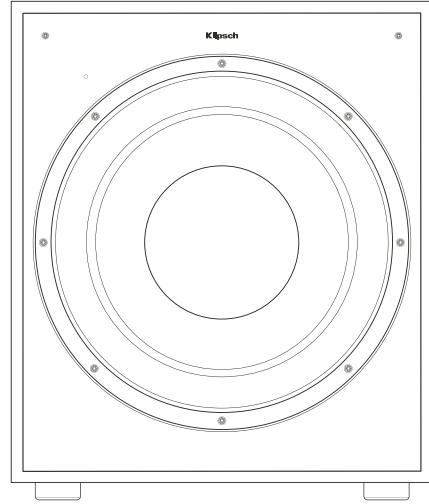




クイックスタートガイド



R-100SW



R-120SW

① 設置

最適なパフォーマンスを得るには、サブウーファーをフロントチャンネルスピーカーと同じ壁の部屋の隅に配置します。
(図1を参照) 設置場所は実際に音を聴いて決めていただくことをお勧めします。

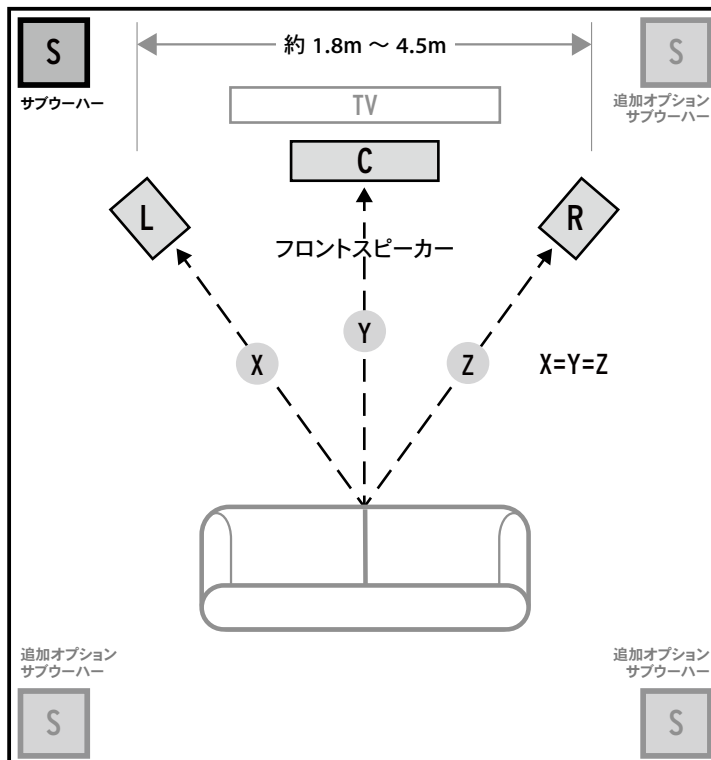


図1: 視聴環境に最適な設置場所

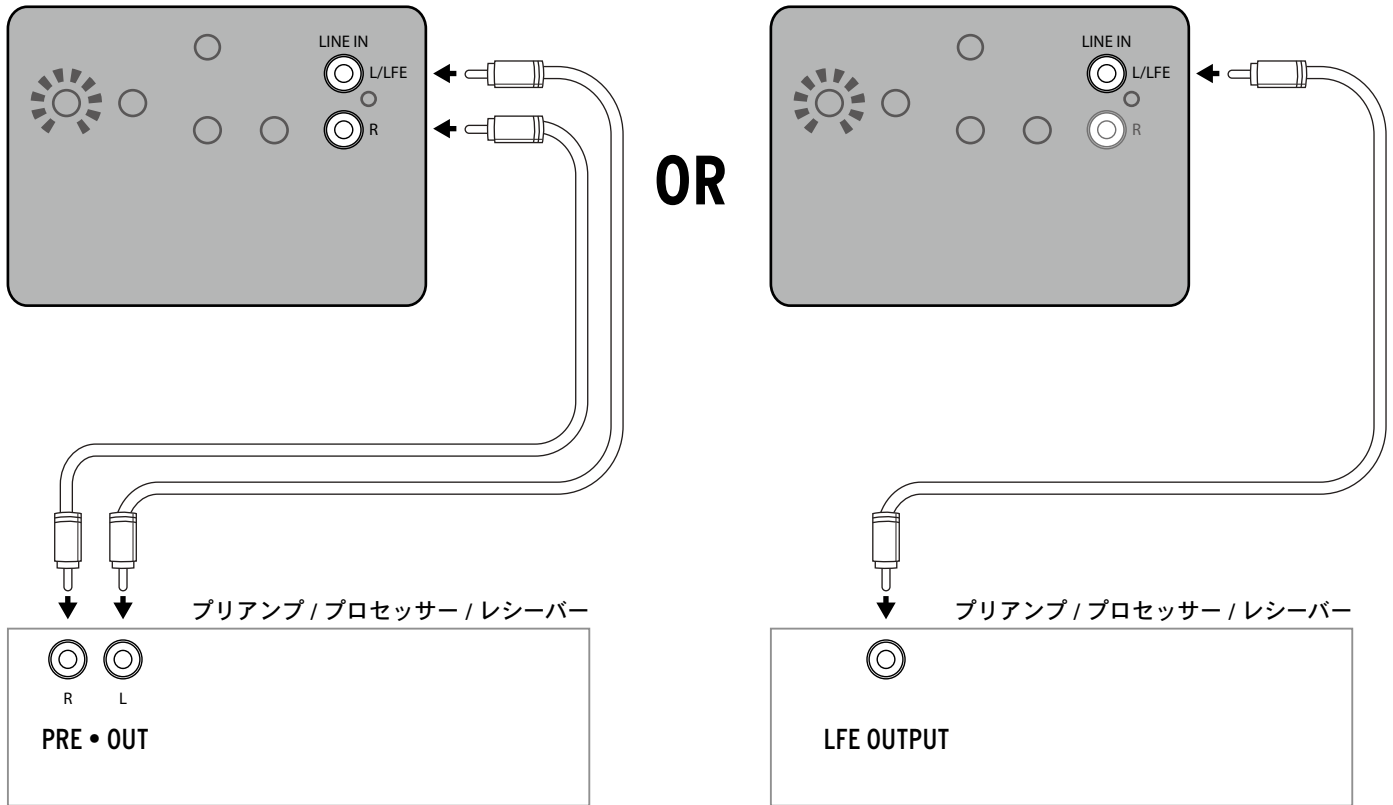
② 接続

注意：接続を行う前に電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

【LINE 入力 / LFE 入力】

プリアンプのSUBWOOFER PREOUT端子と、L/LFE端子を接続します。

詳しい接続方法はお手持ちのプリアンプやレシーバーの取扱説明書をご覧ください。



③ 操作

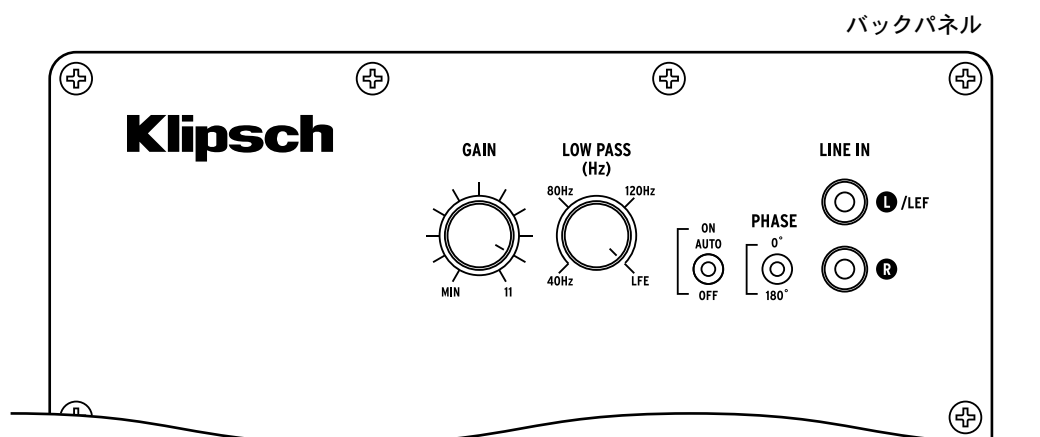
【音量】

プリアンプのサブウーファーアウトプットへ接続している場合

- ① プリアンプのサブウーファーボリュームレベルを“0 dB”に設定します。
- ② サブウーファーのボリュームレベルがメインスピーカーの音量と合うまで、サブウーファーのゲインを上げていきます。
- ③ プリアンプのボリュームコントロールでサブウーファー含めスピーカーの音量を一緒に調整します。

プリアンプのL/Rプリアウトへ接続している場合

サブウーファーのゲインノブで音量を設定します。



【ローパス】

プリアンプでクロスオーバーの設定ができる場合

サブウーファーのローパスフィルターノブは最も高い160Hzにし、プリアンプでクロスオーバーポイントを設定します。

プリアンプでクロスオーバーの設定ができない場合

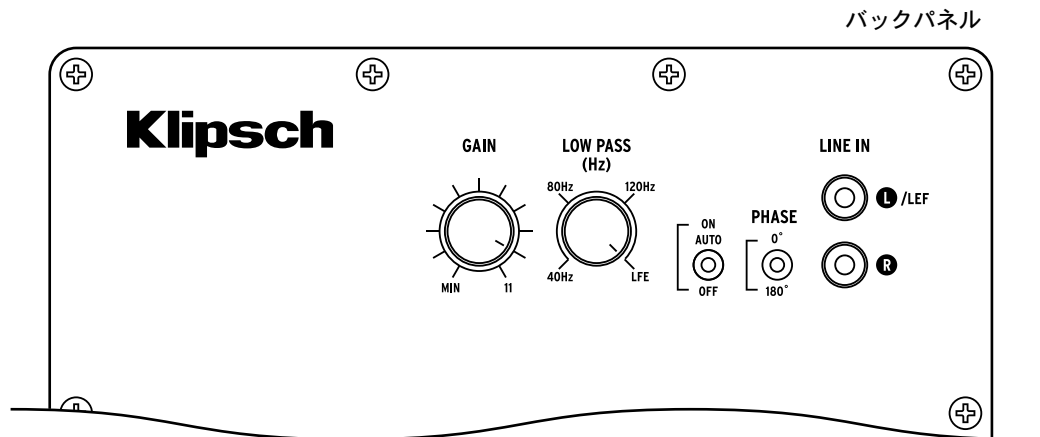
システムで使用しているメインの左/右スピーカーのサイズに基づいて、サブウーファーの“LOW PASS”ノブでクロスオーバーポイントを設定します。一般的に、フロントにフロアスタンディングスピーカーをご使用の場合は50Hz-90Hz、コンパクトなブックシェルフスピーカーまたはサテライトスピーカーをご使用の場合は90Hz-150Hzに設定します。

【0/180度位相切り替え】

リスニングポジションに座り一番効果的に低音が聞こえるように、フェーズスイッチを0°または180°に設定します。

【オートパワーオン】

バックパネルにあるOFF/AUTO/ONスイッチを“AUTO”にしておくと、入力信号を検知して自動的に電源が入ります。入力信号のない状態が15~20分続くと、自動的に“スタンバイモード”になります。“ON”または“OFF”にしておくと、手動で別の設定に切り替えるまでオンのまま、またはオフのままです。



【LEDインジケータ】

フロント面のLEDインジケータは内蔵アンプのステータスを表しています。

点灯:電源がオンの状態です。緑色に点灯します。

消灯:電源がオフの状態です。

お手入れ

キャビネットは乾いた布で拭いてください。研磨剤または溶剤ベースのクリーナーおよび強力な洗剤はご使用にならないでください。ほこりがついたときは、掃除機のブラシアタッチメントで吸い取ってください

このクイックスタートガイドの内容は2020年5月現在のものです。

販売元 **オンキヨー株式会社**

オンキヨー輸入オーディオサポートセンター

IP電話:050-3388-6835 (有料)

受付時間:10:00 ~18:00 (土・日・祝日・弊社の定める休養日を除きます)

©2020 Onkyo Corporation All Rights Reserved

Klipsch®